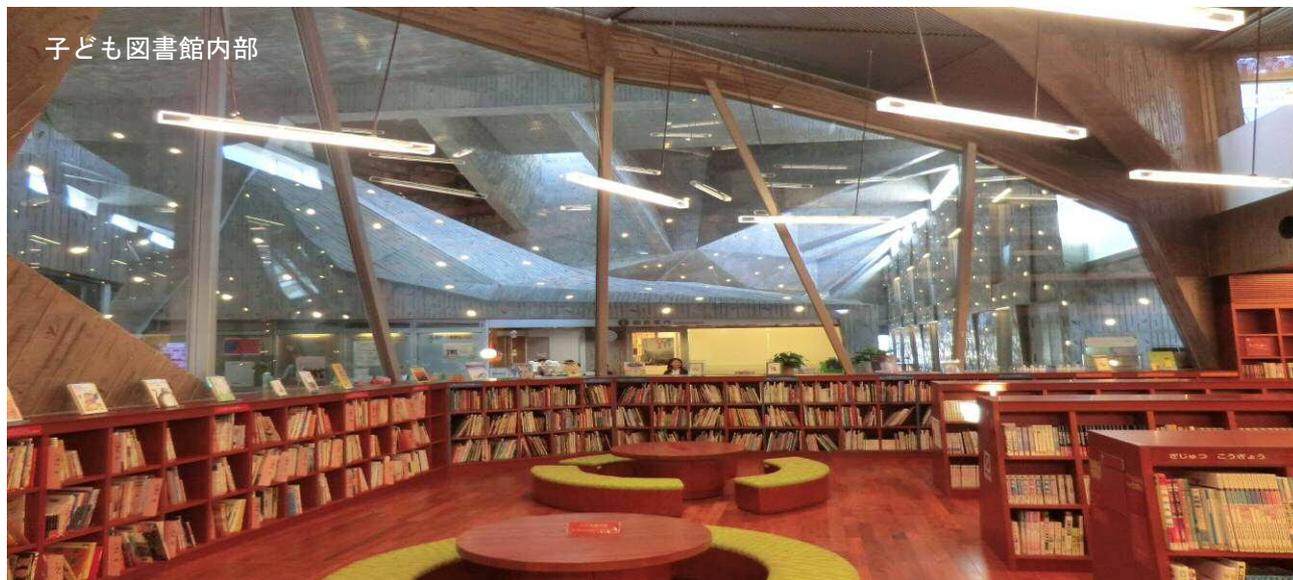


かめだ図書館だより

平成26年3月・第4号



子ども図書館内部

図書館の資料は皆さんのものです —図書館からのお願い—

亀田図書館では、2月6日(木)～3月4日(火)まで「図書館の資料が泣いています」という展示を、入口近くの目立つ場所でおこないました。

写真ですと小さくてわかりにくいと思いますが、展示してある資料は、もっと読んだり、見たり聞いたりできたものばかりです。ページが破れて破片がないため修理ができないもの、水や飲み物に濡れてしまい読むに堪えないもの、自分が欲しいページだけをきれいに切り取ったもの、傷や割れたために再生できなくなったCDやDVDなどです。今回展示はしませんでした、鉛筆などで書き込みがしてあるものもよく見かけます。



そこで図書館からお願いがあります。

図書館の資料は、皆さんが大切に扱っていただければ、いつまでもご利用いただく事ができます。

お互いに気持ちよくご利用いただくために、ご協力をお願いいたします。



蔵書点検ってなに？ —作業内容と結果報告—

2月19日(水)から29日(水)にかけて「蔵書点検」をおこないました。

点検期間中は、ご迷惑をおかけしましたが、無事に終わることができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

ところで、「蔵書点検ってなに？」と思われる方もいらっしゃると思います。そこで、どんな作業をおこなっているのか、ご紹介させていただきます。



「蔵書点検」とは、1年に1回、図書館で登録している図書・雑誌・CDやDVDが、きちんとご提供できるかどうかを確認するための大切な作業です。

作業の内容ですが、貸出されていない資料を写真のように1冊1冊パソコンでデータを読み込み、確認をしていきます。

亀田図書館の場合は、今回対象になった資料約56,000点を読み込みました。

その結果、残念ながら不明になってしまったものが、約120点もある事がわかりました。

ぜひ、貸出カードを作ってください、きちんと手続きをとって借りていただく事を切に願うばかりです。



★図書館まめ知識★ 「貸出カード」の有効期限について

図書館で資料を借りる際に必要なもの「貸出カード」ですが有効期限がある事をご存じでしたでしょうか？

有効期限は4年間で、更新時期が来ますとカウンターの職員から、ご案内させていただきます。

カードは継続してご利用いただけますが、改めて申込書に記入していただき、ご住所の確認をさせていただきますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



亀田図書館 コーナー紹介④ ★アルビレックス関連コーナー★



亀田図書館入口を入ると、正面に展示してある「フェアプレーフラッグ」(左・写真)が目には飛込んできます。かなり大きいので、びっくりされる方もいらっしゃるようです。

このフラッグは、サッカー「アルビレックス新潟」から、亀田図書館が江南区文化会館内へ移転オープンした、平成24年10月6日(土)当日に開催されたホーム戦で使用されたものをご寄贈いただきました。

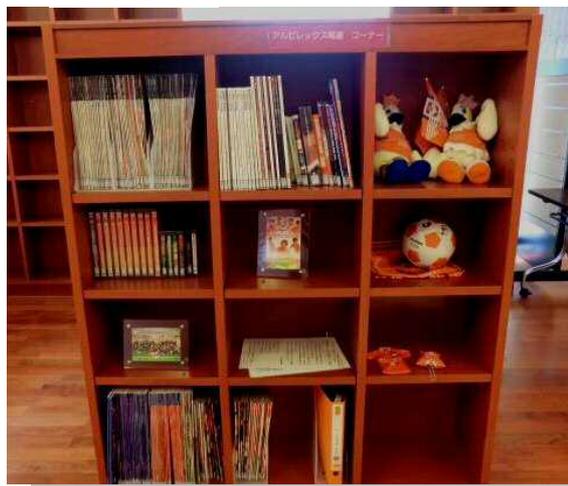
亀田図書館の特徴の一つとして、地元のプロスポーツクラブであるサッカーの「アルビレックス新潟」、野球の「新潟アルビレックス・ベースボール・クラブ」、陸上の「新潟アルビレックス

ランニングクラブ」、バスケットボールの「新潟アルビレックスBB」の皆様からご協力いただき、「アルビレックス関連コーナー」を開館時に設置しました。

コーナーには、各クラブの関連図書や後援会誌をはじめ、CDやDVDなどを登録、貸し出ししており、たくさんの方にご利用いただいています。

ただ、残念ながら後援会誌などバックナンバーが全て揃っていないものがあります。もし、必要のないものがございましたら、図書館へお問い合わせの上、ご寄贈いただくと大変助かります。

また、選手・監督のサイン色紙やサイン入りポスターなども展示してありますのでぜひご覧ください。



江南区の地区図書室紹介④ —横越地区図書室—

江南区には、大江山・曾野木・両川・横越と地区図書室が4つあります。今回は、横越地区図書室をご紹介します。

横越地区図書室は、平成22年5月に新築移転した横越地区公民館内に設置されました。

【横越地区図書室】

所在地 江南区いぶき野 1-1-2

面積 112.19㎡

蔵書数 約11,750冊(雑誌なし)

閲覧席 8席

駐車場 68台(共用)

開室日および開室時間

月～土曜日：9時～21時30分

日曜・祝日：9時～17時30分

返却ポスト 設置なし



※地区図書室は、図書館が遠くて利用しづらい方のために設置

しています。横越地区図書室の利用方法等、詳しくは横越地区公民館にお聞きください。

村山図書館協議会委員よりおすすめの本を紹介していただきました

『清須会議』 三谷 幸喜／著 幻冬舎

これは笑える。映画化され評判を取った。「本能寺の変」後の織田家跡目決定会議。宿老の秀吉と柴田勝家を軸に5日間の日程を三谷シナリオで進む。

秀吉は、隠し玉の亡き長男信忠の遺子・三法師を担ぎ出す。会議は跡目を三法師に決定。秀吉の天下人に成るため作戦であった。

シナリオは、話し言葉による独白と対話で、株式会社の取締役会の議事録のようだ。会話は、相手を見ながら話しかける舞台のようだ。

テンポが軽く、どんどんと引き込まれる。秀吉嫌いのお市の方が、勝家を手なずけていく恋模様はおもしろい。

「かめた図書館だより」第4号(年4回発行)

編集・発行 新潟市立亀田図書館(新潟市江南区文化会館内)

新潟市江南区茅野山3-1-14

電話 025(382)4696

FAX 025(381)8003

メールアドレス kameda.cl@city.niigata.lg.jp

